

# CASBEE 京都-新築

# 標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE京都-新築 (2011年版) 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2011(v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)松原通大和大路弓矢町計画	階数	地上5F
建設地	京都市東山区松原通大和大路東入	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域 準防火地域	平均居住人員	100 人
気候区分	地域区分Ⅳ	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年11月 予定	評価の実施日	2013年9月19日
敷地面積	1,854 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社東洋設計事務所
建築面積	1,371 m <sup>2</sup>	確認日	2013年9月19日
延床面積	6,048 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社東洋設計事務所



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.9** ★★☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>温暖化影響チャート

☆☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超 ☆

標準計算

①参照値 100%  
②建築物の取組み 97%  
③上記+②以外の 97%  
④上記+ 97%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.0**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.2

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.9

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.9

**LR のスコア = 2.8**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.1

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.6

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.5

3 設計上の配慮事項		
総合 ノンフロンの断熱材を使用し、省エネ対策に特化した建物とした。		その他 特になし
Q1 室内環境 F☆☆☆☆の規格に適合した建築材料を全面的に利用することで、空気室環境について配慮した。	Q2 サービス性能 京都市建築物等のバリアフリーの促進に関する条例に準ずる配慮を行った。	Q3 室外環境 (敷地内) 特になし
LR1 エネルギー 住宅性能評価省エネ対策等級3とした。	LR2 資源・マテリアル ノンフロンの断熱材を使用した。	LR3 敷地外環境 特になし

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 ■Lccoの算定条件等については、「Lcco算定条件シート」を参照されたい